

思い入れを、エンジョイ!!

富士山に魅せられて

標高3776メートル、日本一の山、そうです富士山です。関東平野の西端に千数百メートルの山々を周囲に囲んで、その真中に堂々とそびえている。

どこから見ても美しく、誰もがカメラを構え写真を撮る。私も十数年ほど前までは記念写真派として、晴れた日の富士五湖を巡り写真を撮っていた。河口湖の大石公園で写真を撮っていると、近くにいたアマチュアカメラマンに声を掛けられた。実に話好きな方で、しばし写真談議となつた。被写体はもちろん富士山。車を改造して寝泊まりしながら撮影しているとか、今後の予定とか云々。この談議の中で大いに関心を持ったのがダイヤモンド富士の話だった。「3月13日前後、朝霧高原の東京農大農場で、農場内にある池周辺がダイヤモンド富士の好ポイントになる」とのことだった。

ダイヤモンド富士の話は聞いたことはあったが、自分では撮れないものと思っていた。こうした情報が入ると後は天気だけだ。前日の予報は晴れ。当日深夜二時起床し圏央道、中央道、富士五湖道路を飛ばして河口湖ICで降り、国道139号をひたすら朝霧高原へ向かう。現地に着くとまず驚いた。池の周りには30人以上のカメラマンが三脚を立て、その周りにも数10人のカメラマンが控えていた。私は圧倒されて、ここではだめだと思い地図を広げて、今通って来た国道沿いにさわやかパーキングがあるのを見つけて、そこまで戻って三脚を構えた。ここにも20人ほどがいたが、広いので気にはならなかった。初めてのダイヤモンド富士撮影だったがついていた。雲ひとつない快晴で、しかもダイヤモンドも山頂のど真ん中に出来たのだ。このときの感動は今でもはっきり覚えている。



朝霧高原
ダイヤモンド富士

この後、ここにいたカメラマンから、近くのお寺に早咲きの桜が咲いているという情報を聞き、桜との組み合わせで富士を撮影した。

また3人のカメラマンからいろいろな情報を仕入れた。「秦野市の菜の花台公園で、夕日のダイヤモンドが今日見られる」とのこと。これは行かなきゃならんでしょう。しばし休憩の後、富士スカイラインを通り、富士を撮りながら御殿場を経由して、国道246号で秦野市へ。菜の花台は丹沢山塊の入り口。ヤビツ峠手前にある駐車場や、トイレが整備されていて展望台のある秦野市民の憩いの場となっているようだ。駐車場確保のため早めの到着。ここは富士山から程よく遠いので、太陽は山頂と同じくらいの大きさで沈んでいく。朝はキラリとしたダイヤだったが、夕日のダイヤは空全体が赤く、ひとときわ赤い太陽が沈む様子は幻想的な感じで、これまた素晴らしい経験だった。



秦野市菜の花台
夕日の
ダイヤモンド富士

このように初めてのダイヤモンド富士撮影に恵まれたせいか、ますます富士山にのめりこんでいった。朝日は田貫湖のダブルダイヤモンド(4月20日と8月20日)、夕日は山中湖(2月と10月)があまりにも有名で、多くのカメラマンでにぎわう。また、1月1日を中心にして本栖湖の竜ヶ岳には、山頂からダイヤを見る登山者でにぎわう。

このようにダイヤで始まり、ダイヤで終わる富士山撮影ですが、これだけでは済まない。今まで様々なカメラマンと情報交換をしていると、自分も撮りたいと思うものが沢山あるのだが、まだまだなのだ。

普通富士撮影は、富士山と○○の組み合わせで撮るが、この○○が大変だ。例えば、○○が花なら比較的楽である。それぞれの季節に合わせた花と富士山の撮影スポットはほぼ決まっているからだ。



二宮町
吾妻山公園



富士市今宮
茶畠

しかしあ茶畠は一寸大変だった。普通お茶畠には霜の害を防ぐため、扇風機を設置している。これが撮影には邪魔なので、扇風機を設置していない茶畠を探さなければならない。良い場所はカメラマン仲間にあつという間に広がり、中にはマナーの悪い人がいて、撮影禁止になってしまう。何を撮るにしてもマナーは絶対守って欲しい。

私の好きな○○に山がある。富士山周辺の山に登り、富士山を撮る。裾野がよく見え、また別の富士山の姿を見る事が出来る。



知らない富士山が沢山あると思うので、尽きることが無い富士の写真をまだまだ撮りに行くつもりだ。



◆記事寄稿

市川 正

昭和41年電気科卒

※東京秋工会ホームページに市川氏の富士山写真が寄稿されたことから、本記事を依頼しました。

検索：東京秋工会 市川正

古里テクテクのお薦め

羽州街道一人旅

秋田県立秋田工業高等学校同窓会、東京支部(東京秋工会)が会員相互の秋工魂を誇りに、絆を深めるための機関誌KANASAが発行されることに敬意と感謝を申し上げます。

今日まで同窓生としての絆を大事に支部の存続、発展に努められた秋工健児各位、又、歴代先輩役員の並々ならぬ御尽力に敬意と感謝を申し上げます。

さて羽州街道って、どこだ？ 秋田県(古里)の地図を思い起こしてください。現在の13号線、7号線(奥羽線沿い)の旧道、山形側から院内～湯沢～横手～大曲～秋田～能代(檜山)～ニッ井～大館～矢立(青森県境)の総称です。全長は福島～青森間です。

喜寿を迎える昔の人の歩いた道(街道)を、往時を偲んで歩いてみようと計画をたて、実行に移してみました。一度には無理ですので分割してやっております。

4月13日には醍醐(平鹿)から横手まで約三時間歩きました。これで山形県境(雄勝トンネル)から横手まで歩きました。JRの駅(停車場)を三駅歩くと自分の体力の限界です。佐竹の殿様は参勤交代でここを下に～下に～江戸に歩いたんだべな、なんて感動にふけりながら。

自分は秋田市ですので、最寄の停車場まで朝早く電車(汽車)で行き、一人でのどかに歩きます。目的は青森県境ですので、いつくものやら。質実剛健で行きます。

東京の皆さんもたまには、のんびりと古里をテクテクやりに来てください。これがエード、春だ！



◆記事寄稿

本部同窓会長
太田 光重

昭和31年機械科卒



“乾杯！”からはじまる感動のひととき。

BANQUET / ACCOMMODATION / RESTAURANT
宴会・会議・宿泊/レストラン

A
アルカディア市ヶ谷
私学会館

http://www.arcadia-jp.org
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760



JR線・地下鉄(有楽町・新宿・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分

WASHIYA
PROMOTION

イベントや企業パーティーなど
★全国どこでもタレント派遣します★

有限会社
ワシヤプロモーション

代表取締役 鷲谷 透 (昭和56年機械科卒)

OFFICE/〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-29 第2柴田ビル3F
TEL/048-649-8993 FAX/048-647-0073
URL: http://www.washiyapro.com/ E-mail: hibiki@washiyapro.com

給排水.衛生.空調.設備 設計.施工.保守

HSK 株式会社 北勢工業

質実剛健 二人で咲かす同期桜

取締役会長 太田 光重 (昭和31年機械科卒)
監査役 仙北谷 孝治 (昭和31年機械科卒)
代表取締役社長 太田 博之 (昭和56年工業化学科卒)

秋田市仁井田本町5-1-62
TEL: 018 (839) 6516
FAX: 018 (839) 6513
http://www.hokusei-kogyo.com